



# 令和のPTA活動を考える～負担感の少ない、持続可能なPTA活動～

## 取組概要

新型コロナウィルス感染症の流行をきっかけに、PTAの当たり前を見直した。保護者や教職員の負担を各種電子化により減らし、小規模校でも持続可能なPTA活動のため、業務改善に努めている。

## 取り組みの詳細

### ○PTA関連行事の精選と最適化

各種研修会への参加や学校行事への取組について、本部役員会で慎重に審議し、必要な会議・研修等を精選した。

### ○PTA総会の書面表決（Googleフォーム活用）

例年対面で行われていた総会を書面表決にし、学校公開日にて、保護者が生徒の活動の様子を知る機会・時間を増やした。総会開催準備にかかる教職員の負担を軽減した。

※新PTA本部役員の紹介は書面表決後の学校公開日に行った。

### ○防災について：災害リスクに備える

本校周辺は草津白根山や浅間山などの噴火リスクの他、土砂災害などの危険がある。災害リスクに備えて、本校PTAでは、非常食としてアルファ米やカロリーメイトなどを備蓄し、長野原町からは毎年飲料水【500mlペットボトル：200本程度】を寄付していただいている。



## 成果

- PTA組織のスリム化と活動の最適化や出欠席確認（行事等）とアンケート集約の電子化による、保護者と教職員の負担軽減

## 課題や今後の取り組み

- 会長をはじめとするPTA本部役員のなり手不足
- PTA関連行事（研修等含む）の最適化・業務改善の継続

## その他の取り組み紹介

- マナーアップ運動（安全確保）
- 花いっぱい運動（作業補助等）
- 八ヶ場ウォーク（給水・同行）
- 学校HP

<https://naganohara-hs.gsn.ed.jp/>

## 基礎情報

### 団体名

群馬県立  
長野原高等学校PTA

### 全校児童・生徒数

70名

### 学校の特徴

「あっとほーむ長野原」を合言葉に居心地のよい学校づくりを目指しています。  
少人数指導や学び直し、選択科目を多く導入した幅広いニーズに対応した学習を行っています。のびのびとした環境で、地域との交流を大切にしながら、様々な活動にチャレンジしています。

### 組織構成

会長	1名
副会長	若干名
書記・会計	若干名
顧問	若干名



# 学校とともに進める子供達の健全育成

## 取組概要

本校は、学校を挙げてヘルメットの着用指導を行っています。PTA本部役員が教員とともに自転車ヘルメット着用指導を登校時に実施しています。

## 取り組みの詳細

### 1 ヘルメットの着用指導

PTA本部役員が教員とともに自転車ヘルメット着用指導を登校時に安中警察署及び安中市交通安全協会の協力を得て実施しています。

### 2 保護者研修会の実施

保護者が大学を実際に見学することにより、生徒の進路を考える際の参考になるようにしています。例年、PTA本部役員等で計画をして実施しています。

### 3 体育祭への協力

以前はPTA本部役員・クラス役員が豚汁を生徒全員に給食していましたがコロナ禍以降スポーツドリンクの支給になっています。

### 4 総合研究成果発表会への協力

学校職員とともにPTA本部役員が発表の審査に協力しています。そして、最優秀賞、優秀賞に選ばれた生徒にはPTAより賞品を贈呈しています。



## 成果

- ヘルメットの着用率が向上した。
- 保護者の進路に対する意識が向上した。
- 体育祭でのスポーツドリンクの支給は生徒への励みになっている。

## 課題や今後の取り組み

- 下校時にも登校時同様のヘルメット着用指導を実施したい。
- 保護者研修会は大学見学以外の研修も検討したい。

## その他の取り組み紹介

- 県下一斉マーアップ運動への協力
- 安中市青少年センターへの協力
- 文化祭への協力

## 基礎情報

### 団体名

群馬県立  
安中総合学園高等学校PTA

### 全校児童・生徒数

571名

### 学校の特徴

現在の本校は、学習活動・部活動等において大変活気があり、進路関係も大変好評です。就職においては地元企業と密接な連携があり就職者の大部分が安中、高崎、富岡地区の企業へ就職しています。

### 組織構成

- 本部役員  
15名（会長1、副会長2、書記6、会計3、会計監査3）
  - クラス役員  
10名
  - 専門部  
    - 広報部
    - 生活部
    - 進路部
    - 体育部
    - 文化教養部
- 上記5部を本部役員、クラス役員で構成しています。

# マナーアップ運動への協力～「PTAだより」による交通マナーの実態共有～

## 取組概要

全県一斉の「マナーアップ運動」（登校時交通安全指導）に多くの保護者の協力があり、その感想をアンケートで集めて学校に報告するとともに「PTAだより」に掲載して各家庭での交通安全指導に供している。

## 取り組みの詳細

### PTA組織の改正

ここ数年、学級委員（各クラス2名）を1年任期で選出するのに大変な苦労があった。そのため学年委員5～10名（3年任期）とし「できる範囲での活動」を前面に謳って入学時アンケートで立候補を募ったところ、10名の立候補があった。同時に、コロナ以後、一層形骸化していた生活部・体育部・進路部…等の専門部会を廃止し、行事ごとにアンケートを配信して協力者を募る形に変えた。

### マナーアップ運動の活性化

6月のマナーアップ運動の協力者を学年委員に募ると、多くの委員から積極的に手が上がった。事後アンケートにも危険な交差点やヘルメット着用率の低さを指摘する充実した感想や意見が寄せられ「PTAだより」で全家庭と共有した。

### AgencyによるPTA活動

「できる範囲での意味のあるPTA活動」を確認したことによって、本部役員も学年委員も逆に様々な行事に前向きに参加協力する雰囲気ができ始めている。

No22 [令和7年度第4号]  
令和7年6月27日(金)発行  
群馬県立前橋南高等学校 PTA

#### 学年委員がマナーアップ運動（交通安全指導）に協力

6月13日(金)、令和7年度のマナーアップ運動が、生徒の実状で一齐に実施されました。これは、生徒の交通事故を防ぐべく、各学年PTA連合会が主体となって行われているものです。而してPTAでも、10名の学年委員が約8時10分から生徒の通学路の近くに立って、看板監・通行者・自転車の交通マナーを呼びかけました。協力していただいた学年委員さんからは連携の様子を目の当たりにした感想をさせてもらいました。生徒指導室へも伝えました。

三輪神社前の十字路にいました。ガミ収納袋だったようで、駆除する車や抜け道として使う車などで交通事故も多かったです。南側から通学している生徒さんはほとんどなので、一時停止を徹底してもらいたいと思いました。

イヤホンをつけて歩道で走っている生徒さんがおり、通達してしまった注意はできませんでした。横断歩道のないところを渡ろうとする人が、生徒だけでなく一般にもみられました。とても危険だと思います。進路を抜き差す人がいるところです。自分たち以外の方にとっても安全第一でなくてはならないと思います。

## 成果

- 全校生徒の家庭に、生徒の交通マナーの実態と課題を共有できた。
- 係になったから仕方なくの活動から自らの意思で行う正にAgencyをもっての活動へシフトできた。

## 課題や今後の取り組み

- ヘルメットの着用率向上に向けて、PTAとして何ができるか。
- 本当に必要な活動の精選を、常にcrash & builtを意識して続けていく。

## その他の取り組み紹介

- 「PTAだより」電子版の随时発行・配信（年間12号）。
- マラソン大会で本部役員が炊き出しで全校生徒に豚汁を振る舞う。
- コロナ禍以降総会の電子決裁化により、会員の負担軽減・経費節減へ。
- PTA保護者向け進路講演会開催。

## 基礎情報

### 団体名

群馬県立  
前橋南高等学校PTA

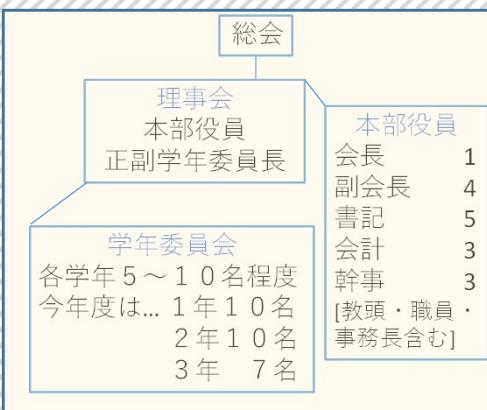
全校児童・生徒数

582名

学校の特徴

今年、創立50周年を迎えた普通科高校。令和5年度より県のSAH指定校となり、生徒の『Agency（自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力）』を重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することを目的とした教育活動を行っている

### 組織構成



## 主な活動実績

地域の祭りでは、ゴミ拾いをしながら街頭補導を行うなど、地域の方々と協力して安全な祭りの運営に寄与している。

学校独自のマナーアップ運動を年に複数回実施し駅や通学路で生徒の登校を見守っている。

### 取組概要

- ・地域の祭りでの街頭補導
- ・文化祭への出店
- ・学校行事へのボランティア参加

### 取り組みの詳細



#### おそろいの ユニフォームで ゴミ拾い

2日間に渡り多くの保護者にご参加いただき、きれいな街づくりに尽力しました。

**笑顔の  
「おはようござい  
ます！」**

生徒が明るく元気に登校できるように、駅前、校門前などさまざまな場所で挨拶運動を実施しました。



### 成果

- ・文化祭出店で大繁盛。
- ・地域住民へ活動の周知。
- ・教員と保護者の連携強化。

### 課題や今後の取り組み

- ・部活動の大会応援への参加者を増やすこと。
- ・学校行事へより多くの保護者参加を募り、学校と教員のリレーションを強化すること。

### その他の取り組み紹介

- ・球技大会へのボランティア参加
- ・BLEND（校務支援システム）を活用した活動報告
- ・各種研修会への積極的な参加

### 基礎情報

団体名

## 桐生第一高等学校 父母の会

全校児童・生徒数

1,264名

学校の特徴

今が楽しい、それが第一

- 12のコース・学科
- 気軽に教員に話せる環境
- 多彩な部活動

### 組織構成

①本部役員（計24名）

- ・会長1名
- ・副会長4名
- ・会計2名
- ・会計監査2名
- ・書記1名
- ・顧問1名
- ・総務部1名
- ・厚生部1名
- ・文化部1名
- ・体育部1名
- ・補導部1名
- ・保健部1名
- ・会員部1名
- ・評議員6名

②学級役員…各クラスから4名選出